

## こども園ひがしどおり開設へ！



協定書を交わし握手する坂崎理事長(左)と越善村長  
 を持った子どもを育むための礎を築いてほしい」と挨拶。坂崎理事長は「期待に応えられるよう事業にまい進したい」と抱負を述べました。

3月25日(金)、役場庁舎にて、平成24年4月に開園予定である「こども園ひがしどおり」の運営団体「社会福祉法人 清隆厚生会(坂崎隆浩理事長)」と、開設に関する協定書の調印式が行われました。

「こども園ひがしどおり」は東通小学校・中学校に隣接し、渡り廊下で行き来できるもので、お互いに連携した幼小中一貫教育を実現するものです。

協定書を交わした越善靖夫村長は「村の明るい未来を託すことのできる、たくましく生きる力

## 子ども達のために活用してください！



津幡所長(左)から目録を受け取る越善村長

3月25日(金)、東北電力(株)東通原子力発電所 津幡俊所長が役場庁舎を訪れ、小・中学生を対象とした環境やエネルギーに関する図書を含む教育関係図書253冊を東通村へ寄贈しました。

村長室で行われた寄贈式では、津幡所長から「東通村の子ども達のために活用してください」と越善靖夫村長に目録が手渡されました。

同社は、平成10年から「原子力の日(10月26日)」、「電気記念日(3月25日)」にちなみ、次世代を担う子供たちに環境やエネルギーについて関心を深めてもらうことを目的として、村内の小学校や中学校に教育関係図書を寄贈して来ました。

寄贈は今回で25回を数え、寄贈していただいた図書数は4,845冊に及び、子ども達のために活用されています。

ありがとうございました。

### 電気記念日

明治11年3月25日、東京虎ノ門の工部大学校において、公衆の前で初めてアーク灯がともされたことを記念し、昭和3年、日本電気協会の総会で3月25日が電気記念日と定められたものです。